

聞き書き甲子園20周年企画

「聞く」と「書く」のあいだ展を開催 ～名人に学ぶ、これからの生き方・働き方～

全国の高校生が日本各地に暮らす森・川・海の名人を訪ねる「聞き書き甲子園」活動20周年を記念し、名人の言葉から生き方・働き方をみつめる企画展を9月14日より26日まで、都内で開催します。

「聞き書き甲子園」は、全国の高校生が森・川・海の「名人」を訪ね、その知恵や技(わざ)、心を「聞き書き」し、記録・発信する活動です。

2002年からスタートした同甲子園には、延べ1800人近い高校生が参加しました。

「聞き書き」は一对一の対話です。名人の生きざまやその言葉の奥に、高校生は何を見るのでしょうか。

「聞き書き」は、他者を知ると同時に、自身をみつめ直す機会でもあります。コロナ禍での開催となりますが、本展示が、画一的な正解のない、これからの時代の生き方・働き方のヒントになれば幸いです。



■日時：9月14日(火)～9月26日(日) 12:00～20:00

■場所：弘重ギャラリー(JR 恵比寿駅 西口より 徒歩6分)

■内容：「聞き書き甲子園」の紹介や「名人」の言葉等の展示

■入場料：無料

■申込：以下WEBサイトから事前申込が必要です

<https://kikigaki-20.peatix.com>

※新型コロナウイルス感染防止対策のため
完全予約制の入場制限を行ないます。

■お問い合わせ先

聞き書き甲子園実行委員会事務局(共存の森ネットワーク内)

〒156-0043 東京都世田谷区松原1-11-26 コスモリヴェール松原301

電話：03-6432-6580 ファックス：03-6432-6580 メール：contact@kikigaki.net



主催：聞き書き甲子園実行委員会

(農林水産省／文部科学省／環境省／(公社)国土緑化推進機構／(特非)共存の森ネットワーク)

※聞き書き甲子園は、(株)ファミリーマートをはじめ、複数の企業・団体の支援協力により実施しています。



「名人」を訪問し、一対一で話を聞く



「名人」は造林手、木工職人、漁師などさまざま



「聞き書き」は世代を超えたつながりが生まれる



地階で展示する愛知県豊根村の山菜採りの「名人」



映画「森聞き」に登場する焼畑の「名人」と高校生

■「聞き書き甲子園」について

「聞き書き甲子園」は、全国の高校生が森・川・海の「名人」を訪ね、「聞き書き」する活動として、平成14年度(2002年度)にスタートしました。現在は、同甲子園の開催に協力する市町村(地域)を毎年公募し、地域の名人を推薦いただいています。名人の職種は、樵、炭焼き、木工職人、漁師など、さまざま。高校生は、自然とともに生きる知恵や技術、心をていねいに聞き書きし、作品を仕上げます。

■「聞き書き」について

「聞き書き」の基本は、一対一のコミュニケーションです。高校生は、「名人」との対話をすべて録音し、一言一句を書き起こして、「名人」の言葉だけで、作品をまとめます。高校生は名人が言いたいこと、伝えたいことは何かを反芻し、熟考します。それは他者を知ると同時に、自分をみつめる機会でもあります。

■企画展の内容について

本企画展は1階と地階の2フロアに分かれています。1階では「聞き書き甲子園」の活動をパネルで紹介します。また、この20年間の「聞き書き作品」を年度ごとにまとめた「聞き書き作品集」を全冊用意。自由に読むことが出来ます。地階には、全国6地域の「名人」のブースを設置。大人の背丈ほどある大きな箱状のブースには、様々なのぞき穴があいています。中をのぞくと、そこには「名人」の世界が広がっています。「聞き書き」を通じて高校生が感じ、考えたことを、五感を通じて追体験できる工夫をしています。

■映画「森聞き」短編版の上映も実施

会場内では、聞き書き甲子園に参加した4組の高校生と森の「名人」を描いたドキュメンタリー映画「森聞き」短編版を鑑賞するコーナーも設けています。映画に登場する「名人」の皆さんは、高校生との出会いをとおして自身の半生を振り返り、「生きること」と「働くこと」の意味を、それぞれに語りかけます。対話によって紡がれる「聞き書き」の世界を、本作品を通じて皆様にお伝えできれば幸いです。

■10月からは全国各地で巡回展も予定

2021年10月より、全国各地で本企画展の巡回展を計画しています。会場によっては、パネル展示だけではなく、映画「森聞き」(短編版)の無料上映会やトークイベントなども合わせて実施する予定です。詳細は決まり次第「聞き書き甲子園」WEBサイト等を通じて発信します。

※聞き書き甲子園公式サイト <https://www.kikigaki.net/>